

概要	質問内容・気になる点	具体の要望等
管理・運営	NPOプラザと県民会館の利用について、一律ではなく差別化してほしい。	
	アトリエはどのような用途に使えるか。市内のアトリエがある施設では1年先まで予約が埋まっていることがあり、使いにくい。	
	相談室は3つあるが、スタッフの配置人数の都合から現在は3つ同時に対応することはない。使用していない間の利活用を検討してほしい。	
	計画案において、宮城県内のNPO支援施設への支援についての記載がない。施設内だけでなく外部に出ていく支援のあり方も明記してほしい。	
	会議室の設計は変えずとも、2分の1、4分の1の広さに仕切れるようにして、その分利用料も減額してほしい。柔軟な会議室の利用方法を検討してほしい。	
	県民会館との共用部分について、使い方はこれから検討するのか。	
	NPOプラザの休館日はいつか。複合施設として、休館日を一律設定するのかどうか。	
	スロープやブルーシートを敷くなどして車いす利用者が和室を使えるようにしてほしい。	
	NPOプラザに隣接する屋外エリアの運営主体はどこか。	
	仙台市内の人だけでなく、遠方のNPO関係者の意見を吸い上げる工夫をしてほしい。	
	NPOが社会に定着してきたことから、組織支援だけでなく、NPOと他機関との協働や地域づくり支援・促進を異本計画に含めてほしい。	
	移転により、会議室・研修室の手狭感の解消や、多少なりとも開催規模のupにつなげられることを期待していたが、「同規模の計画」に沿って設計は実行された事を理解しました。多くを期待できないものと認識しました。	休日でも、会議・研修の開始時間を「9時～18時」と設定出来るような開館時間の設定をぜひ、ご検討いただきたい。
	スタートアップの際の資金的課題に直結するような窓口がほしい。	例えば助成金情報や金融機関との接続などが出来るような仕掛けがほしい。
事務局機能のサポートがほしい。	非営利組織、特にNPOは設立時の書類や、決算時の報告、認定更新などに始まり、助成金申請書や休眠預金事業の実行のためのガバナンス整備など、様々な事務局作業の負荷があるため、NPOにすることを躊躇する傾向があります。そのような事務局機能を一定レベルでサポートしたり、テンプレート化して処理しやすくするような仕組みがあると、取り組みやすくなるのではないかと考えています。	
施設管理の清掃業務等やノンコアな部分の業務依頼を障害者就労支援事業所向けに出していただきたい。	NPO法人格を保有した障害者就労支援事業所も多数あります。当法人はその障害者就労支援事業所等を利用する障害者当事者の方々の工賃向上を支援する活動を主に実施しております。可能な限り移転後の複合施設に関わる施設管理の清掃業務等やノンコアな部分の業務依頼を障害者就労支援事業所向けに出していただきたいです。また、新複合施設を利用する方々の食の部分（イベント時の飲食（弁当、パン、軽食等））での連携可能だと思っています。マッチングやコーディネートもお手伝い可能ですので、是非ご相談ください。	
設計	会議室・交流サロンの収容人数は？	
	県民会館との共用部分が増えると、予約が取りにくくなったり、利用料が高くなったり、実質NPOが利用できるスペースは少なくなるのではないかと。	
	NPOルームは個室か。仕切りがあるのか。	
	外と1階のNPOプラザを繋ぐ窓は全面ガラス素材とあるが、空調代は大丈夫か。	
	施設のメインエントランスと、NPOプラザの交流サロンが地続きになっているが、イベント時の人流の想定はできているか。	
	外と1階のNPOプラザを繋ぐ窓はガラス素材とのことだが、耐震性は大丈夫か。	
	NPOルームが県民会館の大ホールに隣接していたり、相談室が作業室の隣にあたり、騒音が心配。	
	会議室や県民会館側を利用する場合も、車いすが通れる通路を確保してほしい。	
	NPOプラザとしては何平米あるのか。	
	施設内の振動対策は大丈夫か。	
	相談する人の中にはプライバシー保護が必要な人もいるため、交流サロンなど人流が多い場所を通らずに相談室へ来れる動線を確保してほしい。	
	NPOルームが駐車場側のサブエントランスと隣接しており、NPO以外の利用者が間違えて入ってくる可能性がある。	メインエントランス側から事務室を通ってNPOルームに行ける設計にしてはどうか。
	少人数で活動する市民が気軽に集まれる小さな部屋と、セミナーなどを開催できる100人規模の部屋がほしい。仙台市内にある高額な民間施設は利用できない。	
	部屋の大きさについては、曜日や時間帯ごとの利用実績データに基づいて検討してほしい。	
	共同作業室の広さはどれくらいか。	
	1階のガラス面には手すりはあるのか。エントランスからNPOルームに行くまでに距離があるため移動への配慮をしてほしい。	
	会議室の数が足りないのではないかと。	
	パーティションだけでは防音が心配。	
交流サロンの畳スペースが6畳は狭い。親子でも使えるようにするには15～20畳はほしい。		
NPOのショップスペースはあるのか。		
概要図をみたところキッズスペースがないように思えたので、キッズスペースを設けてほしい。NPO活動の集まりにおいて、子どもを同伴にすることもあり、たたみの部屋などがあると、活動もしやすく、また、ここを借りて活動をする場合も子どもへの託児などを依頼する際に安心である。	①キッズスペースの設置 ②多目的かつ、ジェンダーフリーなトイレの設置 ③子ども用トイレの設置	

概要	質問内容・気になる点	具体の要望等
設計	新みやぎNPOプラザの概要を拝見させていただきました。素晴らしい内容で、これまで以上に非営利団体の交流の拠点になるのではないかと期待しております。	この場に集まってほしい主体として「NPO」「企業」「行政職員」「市民」「地域住民」「受益者」などが挙げられると考えていますが、現状の配置ですと、NPO以外の方が集まってくる要素が少ないような印象。 商工会窓口や宮城県の相談窓口など、さまざまな接点生まれるような仕掛けがほしい。
		非営利事業のスタートアップのための、スモールオフィスやワーキングスペースとしての面積が少ない印象があります。さらに、実際の法人登記の場になることもできると、創業の敷居が大きく下げられるのではないかと思います。
	化学物質過敏症の人でも安心して入ることが出来る会議室を1部屋でもいいから作って欲しい。	例1) 熊本城ホール →化学物質過敏症の人でも入れる会議室と障害者トイレを自然素材の建築。 例2) 大阪のある自治体では、市役所内に化学物質過敏症が安心して入れる相談室を造る予定で話が進んでおり、市の職員が学びたいという事で、今秋に化学物質過敏症についてお伝えしに行く予定です。
	太陽光発電やLEDの電磁波対策をしてほしい。	→太陽光発電は、作る段階と廃棄する時に環境に悪い。健康に良くない。 →LEDは鉛やニッケルやヒ素などの有害物質が含まれているために、対策が必要。また、東北大学の研究では昆虫が死んでおり、栗原市では受信障害が発生したり、札幌市役所では体調不良になるトラブルが発生しました。
	換気対策について再考してほしい。	共同作業室には換気扇をつけて欲しい。またトイレは、芳香剤を使わずに、機械換気だけでは足りないので、きちんと窓開け換気出来るよう窓をつけて欲しい。
	化学物質過敏症である私は、シックハウスの懸念がある建物への立ち入りはとても慎重になります。ましてや新しい施設はしばらく入れません。そういった配慮をぜひともしていただきたいです。宜しくお願いします。	化学物質過敏症の人間だけでなく、一般の人間にも優しい材料を使用して、シックハウスにならないようお願いしたい
	大ホールの真下にプラザが位置しており、音や振動が心配。音・振動に過敏な人もおり、NPO活動への影響が懸念される。 駅からのアプローチが長く、荒天時に駅への行き来が心配。	
設備	交流広場にカフェスペースをつくとあるが、厨房設備がない。現行のプラザではNPO団体による障がい者の就労支援にレストランが活かされており、そのようなハードが無くなることへの懸念がある。	
	少なくとも現在の機能・サービスは維持してほしい、というのが最低の意見。しかし、設計をみると貸室の数は減っている。	・大きなホールよりも少ない定員で、気軽に集まれる場が必要。 ・100名規模の貸室も欲しい。 ・共同作業室も現状の備品は最低そろえてほしい。
	共同作業室の備品を充実させてほしい。	・印刷機 → カラーでUSB可 カラーは岩沼でしか使えないが、岩沼に登録をしていないと使えない。 ・紙折り機 → A3まで使用可 ・製本機 公民館やボラセンなどにはある。 ・大きい穴あけパンチ 既存の物で十分 ・ラミネーター → A3まで使用可、シート持参 ・大きいサイズが出来るテブラ → テープ持参 ・シュレッター ・コピー用紙の販売
	自販機や飲食スペースの設置	図面から、自販機や飲食可能スペースがどこなのかがわからなかったのですが、自販機などがあり、今後社会的な活動を志す若者が、低価格で長時間議論や思索が出来る場があると良いと感じています。
	Wi-Fiはその範囲まで届くか。	
	少なくとも現在の機能・サービスは維持してほしい、というのが最低の意見。しかし、設計をみると貸室の数は減っている。	・大きなホールよりも少ない定員で、気軽に集まれる場が必要。 ・100名規模の貸室も欲しい。 ・共同作業室も現状の備品は最低そろえてほしい。
	外と1階のNPOプラザを繋ぐ窓が日射を防ぐ祖浴いだとしても西日は入るため、ブラインドなどが必要ではないか。	
	あと4～5年は現在のNPOプラザを使うため、壊れた折り機を修繕してほしい。	
	NPOルーム（大・中・小）の仕切りはどのような仕様か。	
	和室には、車いす利用者や足の悪い人も使えす座椅子があると良い。	
駐車場	駐車場は250台とあるが、県民会館の大ホール・中ホールが使用される場合、NPOプラザ利用者が駐車できなくなるのではないか。	
	近隣のコインパーキングは楽天の球場に来る人も利用する。大きなイベントがあるとNPOプラザの利用者が使用できなくなるのではないか。	
	土日は駐車場がすぐに満車になることが想像される。その場合の対策や、タクシーを停める場所もなく不便ではないか。	
	宮城野原駅はホームが狭く、周辺で野球の試合がある日は混雑が予想される。それを踏まえて今後調整してほしい。	
	車いす専用の駐車場が5台である理由は何か。コンサートがあった場合、NPOの利用が制限されないようにしてほしい。	
	NPOプラザとしての駐車場が確保されていないのは、イベント対策ができていないのではないか。来てからしか駐車場の空き状況が分からないのも不便。	
	施設の大きさに対して、駐車場に駐車できる台数が少ないのが非常に心配である。	施設の大きさに対して、駐車場に駐車できる台数が少ないのが非常に心配である。利用者が使用できないことはもちろん、近隣への迷惑にもなりかねないので、立体駐車場にするなどの検討をしてほしい。
	駐車場の利便性	・使用・利用しやすさの前提として無料駐車場の設備をしっかりと（現状より台数プラスを期待）とお願いしたい。 ・今より交通アクセスは悪化しますので駐車場対策は最重要であると思っています。
利用料	共用の会議室等が広く、数名でコンパクトに使えるところがない。	大きい会議室（スペース）は利用料が高くなると思われる。小さい会議室の設置が難しい場合は、NPOが使用する場合に減免するなどの対応で、小規模NPOでも使用しやすい料金設定してほしい。
	会議室が広いとその分利用料が高くなるのではないか。小さな市民活動団体が使用しにくい。	

概要	質問内容・気になる点	具体の要望等
	現在のNPOプラザでは駐車料金がかからないことが集まりやすい理由の一つ。NPOプラザの利用者に対し、減免など駐車券の扱いを工夫してほしい。	
対応	県民会館関係者への説明会も実施したのか。	
	NPOプラザとしての情報の打ち出しが少ないのではないか。施設の一部にNPOスペースを作ったように見える。図面でもNPOプラザとしての存在発信を行うべき。	
	新施設が開館するのは5年後になる。今はニーズがあっても10年後、20年後にニーズが変化する可能性があることを前提に進めてほしい。	
	当日の配布資料（NPOプラザの設計図）だけでなく、複合施設全体の設計資料を配布しないのか。今後公開する予定はあるか。	
	2月14日に実施した意見交換会の引継ぎはされているのか。	
	今後もこのような意見交換の場はあるのか。広報期間が短かったり、法人格を限定的であったり協働への姿勢が気になる。	
	NPOの貸室利用が減ることを懸念している。県民会館側にある交流広場や練習室を、会議や研修に使えるようにしてほしい。	
	名称は「みやぎNPOプラザ」にしてほしい	
	付近の渋滞対策をしてほしい	
	複合施設ならではの良さを活かした取り組み検討してほしい	